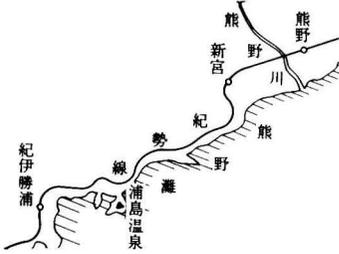


うらしまかんこう 浦島観光 1 事業者の概要 名称 浦島観光株式会社, 本社 三重県南牟婁郡紀宝町成川, 資本金 500万円, おもな事業 地方鉄道(鋼索式)・旅館・飲食店, 鉄道従業員3人, 保有車両 鋼索客車。
沿革 旅館忘掃洞を経営する株式会社浦島温泉が, 昭和33・12・24 免許を受け, 昭和38・3・12に現在名に変更。



- 2 地方鉄道線
赤島・狼煙山間 0.1km, 鋼索式, 動力電気, 軌間 1.067m, 昭和36・8・1 開業, 主として旅館の宿泊者が利用している。
- 3 沿線の観光地
浦島温泉と海岸の景観。
- 4 運輸概況

うんこうかんり 運行管理(国鉄自動車の) 自動車の運行を正確かつ安全にするための管理業務をいう。業務の内容については, 道路運送法の自動車運送事業等運輸規則に具体的に定められている。

国鉄自動車は, さらに**自動車運行管理基準規程**を制定し, 運行管理者の指定, 運転作業基準図簿, 運転作業基準, 踏切通過基準を作成して, これらを乗務員に対して徹底させるとともに, 異状気象時の輸送の安全の措置を講じ, 点呼執行を通じて労務管理の適正を期することとなっている。なお, これらの運行管理業務や乗務員の執務等について適切な監査, 指導の実施も定めている。(高岡一彦)

うんでんきせい 運転規制 雪害時に, その状況に応じて列車の運転計画を変更, 制限することをいう。

昭和38年度から雪害の発生が予想される東北・奥羽・羽越・上信越・北陸・北海道内各線の長距離列車および青函航路の運転(航)計画の変更と制限を, 雪害の状況に応じて段階的に, あらかじめ計画することとしている。

これらの線区に関連のある各鉄道管理局では, 雪害時の輸送対策について古くから実施しており, その意味では新しいことではないが, 最近のように長距離列車が増加し, 輸送が複雑となると統一的思想の下に系統的な列車の運転の計画変更が必要となり, 本社でまとめることとなった。

具体的には雪害の状況を5段階に分け, それぞれについて除雪作業を優先に列車の運休計画を立て, 最悪の状態となっても必要最小限の列車をぜひとも確保するもので, 同時に長距離列車のう回輸送の具体的な計画などを行なって「雪害時における輸送対策要綱」にまとめている。(茂原弘明)

うんでんきんしせんく 運転禁止線区 車両と軌道の構造に関する事項は日本国有鉄道建設規程(昭和4・7 鉄道省令第2号)によって規制されているが, 線区の中には買収線とか, この規程制定以前の既設線がある。その大部分は簡易線となっている。国鉄線の中には, これら簡易線に相当するぜい(脆)弱な軌道構造を有する線区が相当数現存している。建設規程は, これら簡易線を対象としておらず, 一方, 車両はこれを適用して製作されているので, 車両の一部には軸重12tをこえるものもあり, 保安上運転を禁止することが必要である。その大部分は軌道負担力から規制され, これら線区を「運転禁止線区」と称している。運転禁止線区は, 客貨車運転禁止に関する規程(昭和25・8 総裁達第420号)の別表として明記されている。(大友邦彦)

うんでんく 運転区 国鉄の鉄道管理局の現業機関。そのおもな担当業務は, 機関車(暖房車を含む。以下同じ)・電車および気動車の運用および運転, 機関車・電車および気動車の乗務員の運用, 機関車・電車・気動車・客貨車および蓄電池機器の検査, 修繕および整備, かつ大品・危険品および特種貨物の積載検査および輸送の検査, 列車の組成, 車両の入換えなどである。

運転区は, * 運転所に比べて小規模の場合に設置される現業機関である。昭和36・9・10 大阪鉄道管理局に向日町運転区を設置したのが最初であるが, その後車両の増備に伴って運転所となった。昭和40・12・1 現在においては, 札幌鉄道管理局札幌運

項目	年度	昭和36	37	38
旅客輸送人員(千人)		—	38	96
乗客乗員(千人)		—	5	10
貨物輸送トン数(千t)		—	—	—
トンキロ(千)		—	—	—
旅客収入(千円)		135	914	1,590
貨物収入(〃)		—	—	—
運賃雑収入(〃)		—	15	—
収入合計(〃)		135	929	1,590
営業費(〃)		1,501	2,641	2,323
営業利益(〃)		△1,366	△1,712	△733
営業係数		1,112	284	146

(木川 卓)

うんげいなんせん 雲芸南線 広島県三次市から広島市に至る国鉄自動車路線であって, 所管する出雲自動車営業所は島根県出雲市に, 三次派出所は広島県三次市にある。

1 区間・キロ程および沿革

雲芸南線
三次～広島 65.6km

昭和27・5・1 開業

本路線は昭和38・4・1 雲芸線から分離した。

2 営業範囲

旅客および手小荷物の取扱いをしている。

3 使命

陰陽連絡と鉄道補完輸送を使命としている。

4 特長

広島・出雲市間, 広島・石見大田間に特急便を運行し, 陰陽連絡のスピード化をはかるとともに, 芸備線(国鉄線)の補完輸送に寄与しており, 三次市尾関山の桜, 江の川のう飼いは有名である。(河原塚 仁平)

